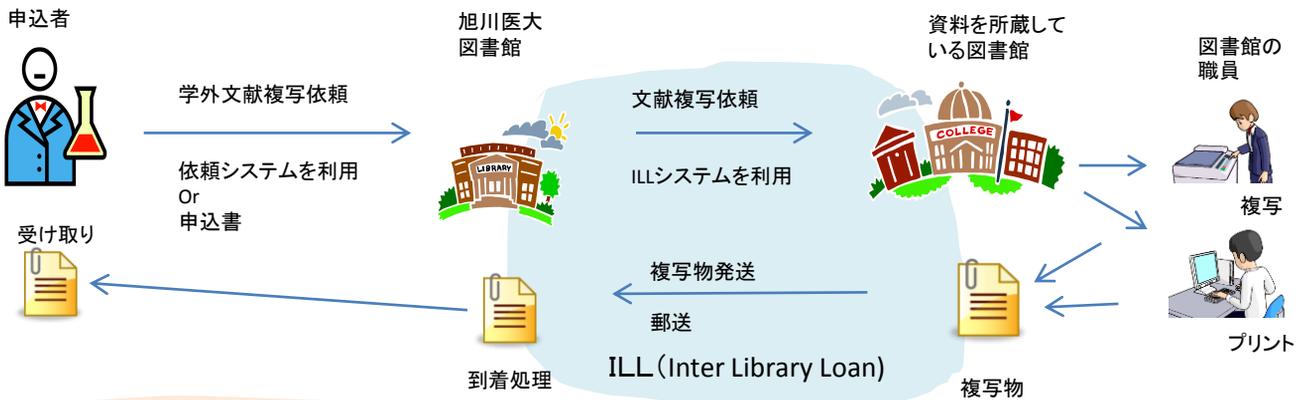


- 学外文献複写のしくみ
- インパクトファクター vs サイトスコア
- 図書館からのお知らせ
春休みの長期貸出そのほか

学外文献複写のしくみ

図書館のサービスのひとつに学外文献複写があります。図書館にはたくさんの資料を揃えておきたいところですが、世の中の全ての資料を揃えることはできません。そこで、図書館同士で資料を複写したものを送付したり、図書そのものを貸し出す相互協力があり、これらのサービス名を、ILL(Inter Library Loan)といいます。医学図書館では、研究者の論文ニーズが非常に高いため、学外文献複写は重要なサービスとなっています。

今のようにインターネット上で情報のやり取りができない頃は、他の図書館の所蔵情報は冊子で調べ、依頼は郵送やテレックスでやり取りしていましたが、現在では、所蔵館を探すのも依頼を送るのも電子化され、全てILLシステムで瞬時にやり取りできます。しかし、論文の複写物は以前と変わらず郵送の送付が原則です。それは、著作権で図書館の業務として許諾されている範囲でILLを行っているためです。



論文をPDFで取り寄せられないの？

出版者が許諾している場合に限り、図書館間のやり取りをPDFで行えることがあります。申込者へのお渡しは、出版者との取り決めにより「印刷物」となります。

FAX送信も同様に、出版者がFAX送信を許諾した雑誌で、所蔵館がFAX送信を行っている場合に限り図書館までFAXで届き、申込者にお渡しできます。

図書館間でのやり取りは、著作権の許諾範囲
※利用者個人へ直接の送付は許諾されていない

ものすごく急いで取り寄せたいのだけど？

所蔵館に依頼する際に、速達発送を希望することができますが、所蔵館での複写作業は相手館の事情に拠ります。医学系の図書館は比較的スピーディに発送してもらえることが多いですが、全てのご希望に添えるとは限りません。時間に余裕を持ってお申込みください。

複写物はどのくらいの日数で入手できるの？

国内に所蔵があれば、1週間程度で届きます。ですが、所蔵館で製本中や貸し出し中といった事情で受付不可となることがありますので、到着までの日数は確約できるものではないのです。

インパクトファクター VS サイトスコア

雑誌の指標といえば、インパクトファクター(Impact Factor)が最も知られています。あまりにも有名となってしまったがために、数値を合計して比較するような誤った使い方がされることもあり、新たな指標(アイゲンファクター)や著者の指標(h-index:h指数)も提案されていますが、インパクトファクターの人気は変わらぬようです。

インパクトファクターの計算に使う被引用回数などの基本データは、Web of Scienceのデータを用いています。Web of Scienceに収録されていない雑誌と収録直後の雑誌は、計算ができないため、インパクトファクターが付いていません。

エルゼビア社では、雑誌を評価する指標として、2016年の12月からサイトスコア(CiteScore)を公開しています。この数値は、インパクトファクターと類似の計算方法で算出されますが、集計期間が3年間と異なることと、Scopusのデータを用いていること等の違いがあります。また、Scopusの方が収録雑誌数が多いため、より多くの雑誌にサイトスコアがつくこととなります。なお、サイトスコアそのものは、無料公開されています。https://journalmetrics.scopus.com/

Scopusの検索結果から雑誌名を辿り、その雑誌のサイトスコアの確定値と、現時点の速報値の双方を確認することもできます。インパクトファクターの付いていない雑誌の評価に有効な指標と思われる。是非ご活用ください。

計算方法の違い (エルゼビア社資料より)

CiteScoreとImpact Factorの比較

	CiteScore	参考: Impact Factor
開発元	Elsevier	Clarivate Analytics (旧 Thomson Reuters IP & Science)
データ	Scopus	Web of Science
対象期間	3年	2年 / 5年
対象文献	A = B 全文献	A ≠ B A = 全文献 B = Citable Items (主にArticlesとReviews)

CiteScore 2015 = $\frac{A}{B}$

A: 2012年~2014年に出版された論文が2015年に引用された回数
B: 2012年~2014年に出版された論文数

Impact Factor 2015 = $\frac{A}{B}$

A: 2013年と2014年に出版された論文が2015年に引用された回数
B: 2013年と2014年に出版された論文数

例: Scopusの雑誌詳細画面

最新の数値(速報値)

図書館からのお知らせ & お願い

体調が悪い時は無理せず 休養しましょう!

風邪、インフルエンザや胃腸炎などで体調を崩しやすい時期でもあります。体調が悪い時は、無理せず自宅で休養を取ってください。

また、図書館内は資料保存のため、乾燥気味ですので、より感染しやすい状況です。他の方に感染させないようにマスクを着用するなど、ご協力をお願いします。



春休みの長期貸出は2/10(金)から

返却期限は4/10(月)までと約2か月借りられます。

ぜひご利用ください。

なお、今年度卒業・修了予定の方は、3/24(金)までです。



図書館を離れるときは 荷物を持って出てください。

ちょっと休憩のつもりで荷物を置いたまま帰宅し、急に体調が悪くなったり、急用が出来たりして図書館に戻れなくなる学生さんが続出しています。座席に荷物が残っていると、他の方が使えません。他の利用者に迷惑をかけないように 図書館から出る時は、荷物を持って出るようにお願いします

なお館内に荷物を放置し、3回回収された場合、特別利用が使えなくなるペナルティがありますので改めてお知らせします。



今年度の試験期特別利用は2/23(木)8:45まで!